

令和4年度
学校だより
1月号

かごまち



令和5年1月10日
文京区立駕籠町小学校
校長 矢部 明美

努力を实らせるために

校長 矢部 明美

新しい年を迎え、すがすがしい気持ちで3学期のスタートを切りました。今年もどうぞよろしくお願いいたします。今年の干支である「癸卯」（みずのと）にはこれまでの努力が花開き、実り始める」という意味があるそうです。以前、『夢の実現』というテーマのお話を聞きました。夢の実現のためには、

- ①「夢」を「目標」に変えること
- ②目標を現実のものとする具体的な方策-目的-をもつこと
- ③挫折から学ぶこと-うまくいかない時こそ自分を見つめ直す時。他のせいにしてない-
- ④愚直にあきらめないこと-努力は『自分』のため-
- ⑤支えてくれる人への感謝を忘れないこと-人は必ず誰かに支えられている。相互に関連していることを忘れない-というものでした。

この中で、「愚直にあきらめないこと」について、先般メジャーリーガーを引退したイチローさんのエピソードがあります。彼は現役時代、「人に笑われた悔しい歴史があるから今がある」とし、「小学生のころ、毎日練習していたら近所の人から『あいつプロ野球選手にでもなるのか』と笑われ、悔しい思いもしたがプロ野球選手になった。アメリカに行く時も「首位打者になりたい」と言って笑われた。しかし達成した...。」と語っています。

誰もが、一流と言われるアスリートになるわけではありませんが、「こうなりたい」と願い、それに向かっていくそのスタートは、最初は誰でもあまり変わらないのではないのでしょうか。志をもち、小さなことでも後回しにせず、努力を積み重ねていくことが大切なのだと思います。

「うまくなる努力をするか、しないか」-自分に向き合って努力を積み重ねるか、何かのせいにして努力をしないか-です。そのために自ら学ぼうとしたり、本を読んだり、もちろん繰り返し試したりするでしょう。その過程で様々な人とのかかわりがある。その過程と、出会いと、自分を支えてくれている人に感謝の気持ちをもつことは、切り離しては考えられません。これまでも本校が大切してきた子どもたちの「こうなりたい」という思いを引き出し、子どもたちの、自分の思いや願いに向けての努力が実る3学期となることを願っています。

1月の行事予定			詳しい時程については、学年だよりをご参照ください。		
日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	日		17	火	
2	月		18	水	かごめ班活動 避難訓練 4時間授業
3	火		19	木	学びの教室始 読み聞かせ（4年）
4	水		20	金	委員会 作品展
5	木		21	土	土曜授業公開 作品展（保護者鑑賞日） 3時間授業
6	金		22	日	
7	土	冬季休業日終	23	月	全校朝会
8	日		24	火	東京グローバルゲートウェイ（5年）
9	月	成人の日	25	水	かごめ班活動
10	火	始業式 安全指導 土曜時程4時間授業	26	木	読み聞かせ（1年）
11	水	給食始 席書会（5・6年）発育測定（1・2年）	27	金	クラブ 日本舞踊体験（2年）
12	木	席書会（3・4年）4時間授業（1～4年）発育測定（5・6年）	28	土	
13	金	発育測定（3・4年）	29	日	
14	土		30	月	全校朝会
15	日		31	火	区内めぐり（3年）
16	月	全校朝会			

思いをもって学ぶ3年生

第3学年主任

駕籠町小学校では、自ら課題を見付けて、「こうしたい」「こうなりたい」と思いをもって学習に取り組む児童の育成に力を入れています。

体育「跳び箱運動」で台上前転に取り組む児童の様子をご紹介します。「跳び箱の上で、前転をするよ。」と児童に伝え、体育館にあらゆる練習の場を用意します。すると、やったことがある、自信がある子は、さっそく跳び箱の場へ。初めて挑戦する、少し不安な子は、マットの場へ。自分ができそうな場を選んで練習を始めます。やっているうちに、自然に自分の課題を見付けます。「いつも右にまがってしまう。」「マットだと前転できるけど、高いと怖い。」「ドスンと着地してしまう。」など様々です。その課題をもとに自分のめあてを立てて、練習をしていきます。「こうなりたい」という思いをもつことで、自ら試して、考えてまた試して、といった姿が自然に生まれ、跳び箱の技能がぐんぐん高まっています。



本校の伝統文化教育について

伝統文化担当

世界の中で日本人としてよりよく生きていくために、日本のすばらしさを学ぶとともに、将来日本の文化を自ら発信し、日本の魅力を世界に伝えるために、様々な視点から日本の伝統文化教育を毎年実施しています。

今年度は、10月に落語家の三遊亭圓福先生をお迎えし、3・4年生を対象とした「落語教室」を実施しました。ユーモアあふれるお話に子どもたちは想像力を働かせて、笑いの絶えない時間を過ごしました。4年生は、昨年落語を鑑賞していましたので、とても心待ちにしていました。伝統文化が根付いた一時でした。

また12月には、箏の講師、中野宏子先生をお招きして、4年生を対象に箏の特別授業を行いました。

箏の名曲「六段の調べ」を鑑賞し、箏の美しい音色に聴き入り、いろいろな奏法を食い入るように鑑賞していました。その後、体験学習で実際に箏を使って「さくらさくら」の旋律をグループごとで演奏をしました。また、2年生3年生では、「わらべうた」を体験し、5年生6年生では、「さくらさくら」に伴奏や低音をつけて箏の合奏を楽しんでいました。

この他に、山田卓先生を招いての「長唄特別授業」、3年生を対象にした「和太鼓特別授業」、そして2年生を対象にした「日本舞踊体験」が開催されます。

子どもたちにとって有意義な経験となるよう、工夫して実施したいと考えています。

